

・ 1970年 4/30~5/5

・ 北ア・屏風岩東稜（後藤、村岡 博）、槍ヶ岳（村岡・小川洋子・和泉光子）

・ タイム	BC	2 ; 00
	T4	4 ; 40
	T2	5 : 00
	登攀開始	5 : 30
	墜落者目撃	8 : 00
	終了	9 : 30 (大休止含む)
	屏風の頭	11 : 30
	涸沢	12 : 00
	BC	14 : 00

記録の詳細は、あまりなかった。屏風岩のコースタイムだけあった。

写真もない。残念。ただ、要所要所は鮮明に記憶している。

横尾谷を渡り、T4テラスまで、案外、しょっぱかった。

T4テラスから仰ぐ、花崗岩の屏風岩は圧倒的だった。上れるだろうか。

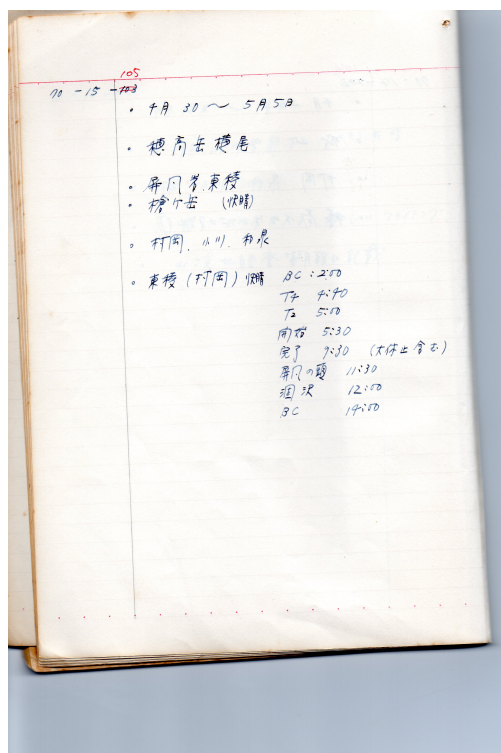
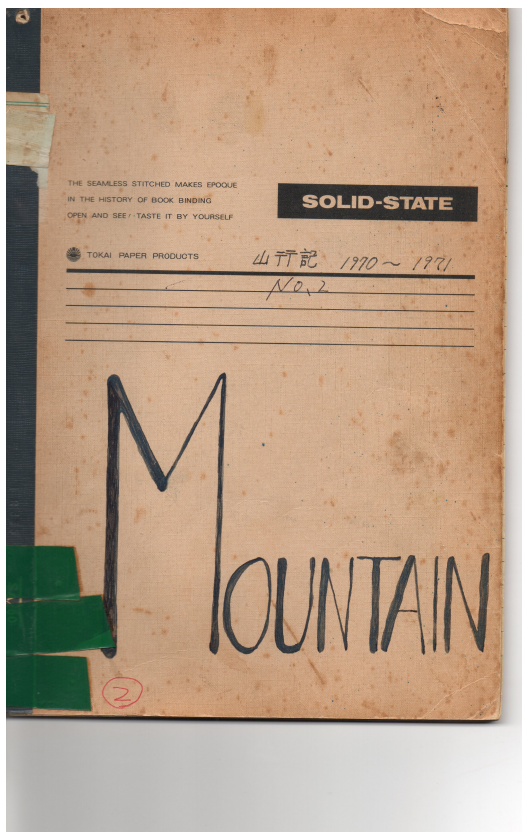
一抹の不安がよぎる。やるっきゃない。いくしかない。のぼるしかなかった。

現在は、東稜も結構、フリー化されたいのが、当時は最初から「アブミ」登攀だった。

天気は良かった。無風快晴に近かった。北穂が大きい。股間から下を覗くと、

横尾谷に豆粒の登山者が行き来していた。登攀は佳境に達した。東稜と呼ばれるように

幅1500mある屏風岩の尾根を上っていた。気分はサイコー。これ以上のテンションはなかった。





右・和泉



屏風岩

